

さんむまのりの通信



梅の花が咲き始め、春の訪れを感じます。冬の空から春の空へ、大きく息を吸い込み、「ふ〜っ!!」と思いきり吐き出すリラックス方法がわたしは大好きです(*^^*) 身体の中に蓄積していたモヤモヤが吐き出した息と共に何処かに吹き飛んでいくような気持ちになります。



子育てってモヤモヤ・ハラハラ・イライラの連続ですよ。自分の理想通りにはいかない。お子さんにも、たとえ0歳でも、18歳と同じように人格がある。もし、「ママのことが大好きだから、ママの気持ちに寄り添い、ママに喜ばれる子どもになろう」と、考えている子どもがいたとしたら、気味が悪いと思いませんか？ 子どもって意外とママの気持ちを察知するのが上手なのです。ママの要望が高く強すぎるほど察知しやすいものです。大人の顔色を伺うことも上手です。



わたしは、まのりめに通って下さっているお子さんたちには、自分の人生を歩んで欲しい。自分で考え、自分で選択し、自分で行動する。そんな生き方をしたいと願っています。

そうは言っても、ではどうすれば？

大切なことはさぶる簡単で、よけいな口出しをしないことです(≧≦) 子どもが自ら考え行動すること。お子さんにとってそれは遊びです。我が子の遊びをまず見守る。子どもが自分でやってみる、いろいろな試し行動に対して「こうやったら？」的な口出しをしない。上手いかず泣いても良い、思い通りにいかず怒っても良い。自分でやってみ

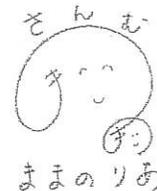
ることと、その時味わった感情を表出することが、とってもとっても大切なのです。上手くいった時は必ずママを振り返り、アイコンタクトをとります。上手くいかなかった時は、泣いたり怒ったりしながら助けを求めます。お子さんの方からサインが出るまで待ちましょう(^^)/

何を手助けすれば良いのか？ ここが、ママの頑張りどころです。お子さんの様子をよく見ましょう。そして、必要な手助けは何なのか？ ママが考えてみてください(*^^*)



たくさんのママと出会ったわたしの経験では、子育てに一生懸命で熱心なママほど「待つ」ことが苦手なような気がします。子どもが困らないように、失敗しないようにと考え「転ばぬ先の杖」の役割を果たしてしまうのです。日々、呼吸をするように、先へ先へと子どもの行動の先回りをしていては、子どもは達成感を得られません。幼少期から子どもが自分で考え、自分ひとりの力で遊びを満足させ、「これ」といった好きの極みを見つけられることは、いずれ、児童期・青年期(思春期)、そして大人になっても継続し続ける大切な宝物になります。お子さんたちが、そういう宝物と出会えますように、応援したいです。

「これまでたっくさん口出ししちゃった。しまった！」と思っているママたち、大丈夫(^^)/ 思った時が第一歩。100%の口出しをまず95%に。その次は90%に... 少しずつ減らしていきましょう。きっとお子さんの笑顔が愛おしく、我が子が10倍可愛くなるでしょう。



〒289-1326
千葉県山武市成東 2256-20(元京進予備校)
※駐車場有り ※バス停:成東高校前下車 徒歩約3分
電話:0475-71-3837 FAX:0475-71-3838
E-mail:genki@mamanoria.or.jp
ホームページ:http://www.mamanoria.or.jp/sanmu/home.html